

びとう和広後援会ニュース

2012. 10.10

第 33 号

発行責任者
小倉義彦

安心で元気な三田めざして

頑張ります！

今年も協賛します！
三菱電機オータム
フェスティバル
10/13開催

今年の抽選会の様子

寒露の候、朝夕めっきり寒くなりました。日差しに暑さを感じるものの、日蔭では肌寒く感じるこの頃です。

後援会の皆様には、日頃より力強いご支援・ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

9月30日投票の三田市議会選挙は、議員定数を24名から22名に2名減した初めての選挙でした。31名立候補で激戦となり、20代2名30代5名の若者が乱立し、世代交代を訴える地域政党も出て、政策の争点が分かりにくい状態に加え、投票日が台風で前日にポスター掲示板撤去という異例事態もあり、投票率は前回の53.3%を大きく下回る43.3%と過去最低となりました。

そのような中の5位当選は皆様のご支援の賜物と感謝しております。これからも、皆様のご支援に応えられるよう、「生活者の声」・「働くものの声」を市政にしっかりと届けて参ります。原点に立ち返って頑張ります。

さて、1988年から10年連続人口増加率日本一で急成長した三田も、団塊の世代の引退により、今後急激な高齢化になります。これに反し、若者の大半は転出し、その結果、少子化が急激に進んでいます。これからの少子高齢化に向けた体制整備が必要です。

私は、若者が三田で住み・働き・子育てしやすい環境で、定着を図ることが、将来に向けた安心で元気なまちづくりと訴え、特に、雇用・医療・子育て支援施策を中心に、基盤となる行財政改革とともに推進しています。

第2テクノパークは、ダイワハウスの事業開発により、現在2社進出が決定し、さらなる誘致を推進中です。

市の新庁舎は周辺工事が8月に着手され、2015年2月には新庁舎が完成する予定です。

市議会では、私なりに、2期8年間議会改革を推進できました。また、副議長や企画総務常任委員会や決算特別委員会の委員長を無事務めることもできました。今回の選挙を受け、10月23日より新しい議員団となります。議会として真価を問われるのは、これからです。

後援会では、10月13日三菱電機オータムフェスティバルに協賛し、「びとう和広コーナー」を開設します。多くの皆様にぜひお立ち寄り頂きたく、よろしくご協力致します。

三期目も、後援会の皆様との対話を大切に、精一杯頑張りますので、一層の力強いご支援・ご協力のほど、よろしくお願い致します。



三田市議会議員

びとう かずひろ
和広



びとう和広の一般質問

8月29日に一般質問をしました。
今回は、選挙前でもあり、11名が個人質問し、びとうは10番目に持ち時間40分の質問を行いました。

1. 第二テクノパーク

問: 第二テクノパークの状況と課題

4月に1社決定の報告以来、次の誘致が聞こえてこない。課題と市の支援状況を問う。

(1) 進捗と課題

市: 現在進行中の北摂三田第二テクノパーク第一期は99%が工事完了し、各種手続きを含め、来年3月予定の完了を今年12月に前倒し完了の予定である。今回2社目の誘致を報告できる。歴史的な円高等の影響で国内企業の海外シフトの動きは強く、また、県内でも関西電力の電力供給不安等により今年に入って様子見の企業が多い。

他市の優遇制度を見ながら、新たな市独自の優遇策も検討していく。

2) 市の周辺開発と誘致支援

市: 周辺の道路整備は、周辺住民の通行の安全確保や企業の輸送等確保のため、「三田西インター線」延伸、「市道須丸線」拡幅(2013年度完了)、「市道下相野広野線」拡幅を計画的に整備中。

授業員の通勤は新三田駅からテクノパークの路線バスを第二テクノパークまで延伸し、併せてラッシュ時の連節バスの導入により、混雑緩和・利便性向上を図る。

び: 今回の答弁で二社目の誘致決定の発表がありました。自動車のバネ・座金のメーカーで、海外に対する保険のような位置付けとも聞いています。ものづくりが海外に流出する中、国際情勢の不安定さに危機感を感じるこの頃ゆえに納得できる考え方です。



来年度より運行の連節バス

2. 保育所の入所決定

問: 新学年度4月から職場復帰にむけ保育所を申し込むと、現行での募集・決定時期は

一次は1月上旬募集し、2月上旬決定
二次は2月中旬募集し、3月上旬決定
三次は3月上旬募集し、3月中旬決定
一次・二次決定に漏れると自動的に二次・三次の決定を待つことになり、一次決定に入らなければ、3月上旬まで結果が分かりません。

育児休職からの復帰では、会社の制度により、保育所が決まらなければ、復帰できません。さらに、職探しの場合は保育所決定が前提のところもあり、前後で大きな負担となります。

二次決定が2月中旬にはできるような運用は出来ないか。また、そもそも待機児童ゼロに向けた体制づくりはどうか。

(1) 待機状況と受入体制

市: 三田市内認可保育所の待機児童は昨年4月23名に対し、私立保育園2園で計20名の定員を拡大し、総定員780名とできたことや、保育料助成制度に伴う認定こども園や認可外保育施設の利用促進により、今年4月で13名と減少している。

しかし、入所申込者は増加傾向にあり、特に1,2歳児の保育需要は高いので、新たに認可保育園1園の増築により10名の定員増を図る。

(2) 入所決定スケジュール

市: 今後入所決定の時期を大幅に早めることは難しいが、申込時期の前倒しを検討していく。特に、所得証明が12月末となるため、まず募集し、追って証明書を提出できる仕組みを検討する。

び: 「子育てするなら絶対三田」の名のもと、制限項目の緩和、受入枠の拡大や幼保一元化により、待機児童ゼロに向けて、受入れ総枠拡大を図っていますが、一層の充実を要望しています。また、保育所の要望が偏っているため、担当者が苦勞されているとも聞いています。

これからの少子化問題もありますが、共働き世帯の増加によりなかなか待機児童ゼロとならないのが実態です。対象となる皆様の生の声をお聞きし、先読みの政策が必要です。

3. 将来に向けた介護

問: 三田市はこれから急速な少子高齢化となり、全国標準よりも先を見た介護システムが必要となる。状況認識と市として出来る早期対策を問う。

(1) 介護保険料負担

市: 介護給付費は2013年度48.8億円、2014年度51.4億円、2015年度以降は団塊の世代が対象年齢に入るためさらに増えると予想される。その12.5%を一般会計から繰り入れるが、保険料負担も増額が予測される。

(2) 独居高齢者の把握と対応

市: 2011年度の独居高齢者は1,642人で、緊急対応は身体障害などの条件で、「緊急通報システム事業」で行い、食の配達やふれあい活動推進協議会の訪問や見守りで安否を確認している。介護認定者は介護サービス事業者の関わりが必要。

(3) 老老介護への対応

市: 介護者が65歳以上は40.7%で、介護者の状況に応じた介護保険・生活支援サービスの的確な支援に努める。

(4) 在宅介護への対応

市: 可能な限り住み慣れた地域でより自立した生活を営めるよう「地域包括ケアの充実」を推進している。同居家族等がいる場合の在宅サービスもケアマネージャーが個々に応じて判断している。

(5) 介護予防への対応

市: 65歳以上の要支援・要介護認定を受けていない人のうち、認定を受ける恐れのある人に案内や情報提供を実施。

(6) 介護職員の待遇と確保対策

市: 2009年度から2011年度までは、「介護職員処遇改善交付金」が実施され、2012年度の介護報酬改定において、「介護職員処遇改善加算」が創設された。市独自の対策は難しいと思うが、適切に運営が推進されるよう周知を図る。

び: 介護保険はすでに人材不足で、今後の急速な少子高齢化に、財政とともに厳しくなり、早期に対策が必要です。

2011年度の三田市決算

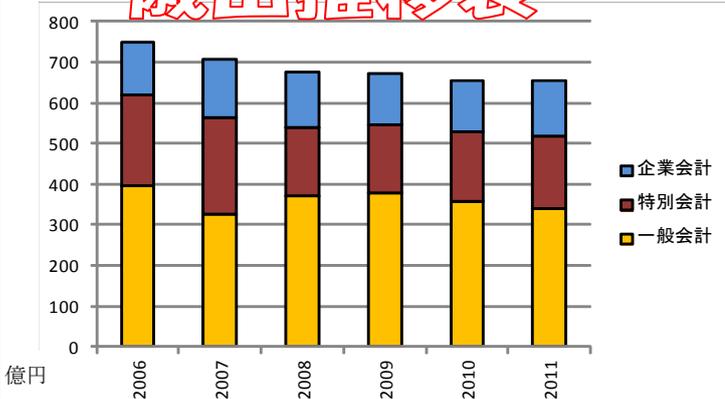
2011年度の一般会計決算は、

歳入総額 344.8億円
 歳出総額 339.0億円
 実質収支 4.6億円(翌年度繰越を除き)

■<ポイント>

- 財政調整基金を取り崩すことなく確保できた黒字決算。
- 歳入:対前年 △23.3億円
 法人税・たばこ税(国の税改定)などの増収・・・+2.1億円
 地方交付税・臨時財政対策債などの減少・・・△6.2億円
 土地の売り払い収入減・財政調整基金取り崩しなしなど
- 歳出:対前年 △21.2億円
 人件費(給与カットは継続のため差は少)・・・+1.1億円
 扶助費(子ども手当・生活保護費)……………+3.7億円
 公債費(市で購入する債券)……………△1.3億円
 投資的経費(国交付金事業の終了)………△21.5億円
 など

歳出推移表



行財政改革の効果で支出抑制。

5年・10年後の三田市は？

9月14日に第4次総合計画が可決されました。総合計画とは、まちづくりの指針となるもので、5年後10年後の三田の方向を定めました。(詳細は次回)

三田市では今まで3次にわたる総合計画に基づいて、まちづくりを行なってきました。

1. 三田市総合計画(1981年度～1990年度)

急激な高度経済成長による大都市過密・公害などの深刻化に自然豊かな郊外生活への要望が強まり、1969年北摂ニュータウン計画が発表され、青野ダム建設・福知山線複線化・高速道路整備など大規模プロジェクトや道路・上下水道など都市基盤を整備。

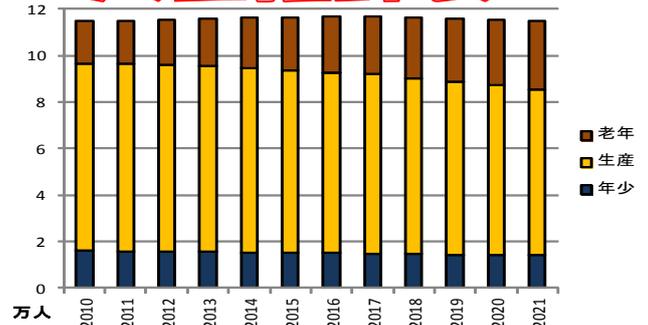
2. 三田市新総合計画(1991年度～2001年度)

ニュータウン等への急激な人口増加に伴う需要に、自然環境保護を配慮しながら、学校・市民病院・各センター(市民・福祉保健・クリーン・環境)・消防署などを整備。また、都市の核地域を整備。

3. 三田市第3次総合計画(2002年度～2011年度)

まちの魅力を高め、暮らしの質向上を重視し、文化活動拠点・安心拠点・市民活動拠点の整備。

人口推計表



急激な少子高齢化が読み取れます。

びとう和広の視点

■<原点に立ち返る>

3期目の挑戦にご支援いただきありがとうございます。今回、2期8年を振り返り、原点に戻って取り組んでいく、と訴えてきました。

民間企業21年間の経験をもとに、働くものの代表として、子を持つ親の代表として愛情ある政策を立案し情報力を持って分析・判断・決断し情熱を持って実現します。

働く者・生活者の声を市政に届けるためには、やはり皆様との対話が大切だと考えます。従来の後援会宅訪問や市政報告会に加え、ミニ集会や意見交換会など、皆様の声をお聞かせ頂く機会を増やしてまいります。

皆様のご協力・お声かけよろしくお願いたします。

■<総合計画について>

現在の高齢化率(65歳以上の人の占める割合)が現在16.1ですが、3年後には20%、8年後には25%を超えます。急激な高齢化を迎える三田を支える世代の呼び込みと定着が必要です。

自然豊かな三田の良さを継承しながら、安全で生活しやすい、便利で活力のある街にしなくてはなりません。私の「安心で元気なまち」は、単に概念でなく、実体でなければいけないのです。

若者が住み・働き・憩い・学び続けられる、元気なまちが私のイメージだったのです。安心・安全な住環境に雇用があり、出産・子育て・教育と一貫した支援の上に、安心の福祉社会があると考えています。

今回の総合計画は、議会として特別委員会ですっきりと審議しました。

■<議会改革について>

今回の選挙で若い世代から多くの立候補がありました。20代2名30代5名の若者が、若さや世代交代を訴えるなど、今の政治不信に対する裏返しかもしれません。

地域政党を前面に出し、維新の会さながらに、政党名での選挙も出て、政策の争点に分かりにくい選挙だったのではないのでしょうか。

7月に議会基本条例が施行されましたが、市民報告会や意見交換会をどのようにするかは今からの課題です。新聞のアンケートに、議会の政策提言力向上と書きました。これからは、単なる市のチェック機関や追認機関ではなく、政策を企画・提案・提言が出来なければならない、と考えています。

これからも議会の意識改革を推進します。

びとう和広後援会より

後援会の行事としては、4月17日
後援会総会以降、後援会拡大活動
を精力的に行い、9月23日告示30
日投票・開票の三田市議会選挙の
びとう選挙対策委員会に引き継いで
参りました。お忙しい中のご支援・ご
協力、ありがとうございました。

これからいろいろな行事を企画
し、後援会の輪を拡げるとともに、
「びとう和広」が皆様の声をお聞きす
る機会を創るように、精一杯頑張っ
て参ります。皆様の一層の力強いご
支援・ご協力のほど、よろしく願い
いたします。

さて、10月13日は三菱電機
三田製作所でオータムフェスティバル
が開催されます。びとう和広後援会
としても協賛し、くじ引きを中心に
「びとう和広コーナー」を開設しま
す。多くの方のご来場・お立寄り
をお願いいたします。



昨年のびとうコーナー

三菱電機オータム フェスティバル 今年は10/13開催

メインステージプログラム

- 11:00 開場
- 11:10 軽音楽部 ライブコンサート
- 11:40 実行委員会 開会宣言
- 11:50 特命戦隊 ゴーバスターズショー
- 12:50 有菱会企画「めざせ旅行券 ○×ゲーム大会！」
- 13:50 有菱会会長・ご来賓 挨拶
- 14:00 スペシャルライブ 「嘉門 達夫」
- 14:15 お楽しみ！ 大抽選会！！
- 15:10 閉会宣言

オータム
フェスティバル
に協賛！



昨年の抽選会の様子

後援会会長挨拶

後援会会員の皆様方には、たいへんお世話になっ
ております。日頃より力強いご支援・ご協力を賜り、誠
に有難う御座います。心より厚くお礼申し上げます。

早いもので『びとう和広』は、市議会に送り出して頂
いてから8年が過ぎました。今年9月に開催されました
市議会議員選挙におきましては、**3期目の挑戦に勝利**
することが出来ましたことに、感謝申し上げるとともに、
今後一層、後援会の輪を広め、皆様の声を頂きなが
ら、市政で活躍してもらいたいと願っています。

さて、『びとう和広』は、大変厳しい情勢下、安心
で元気なまち・三田に向けた積極的な市政活動に
加え、三田市民に開かれた議会として応えるべく議
会改革活動を精力的に進め、後援会活動とあわせ
て、力強く邁進しています。

『びとう和広』は、これからより多くの皆様のお声
を頂戴し、問題解決に向け、全力で活動する所存
で御座います。何卒、皆様の倍旧のご指導・ご鞭撻
を宜しくお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

びとう和広後援会会長 小倉 義彦

【びとう和広 後援会 連絡先】

<連絡先> 〒669-1513 三田市三輪2丁目3番33号
三菱電機労働組合三田支部気付
Tel: 079-563-1860 Fax: 079-563-5093

<自宅> 〒669-1537 三田市西山2丁目11番13号
Tel: 079-562-8653, Fax: 079-562-0730

<電子メール> bit@venus.dti.ne.jp

<ホームページ> <http://www.bitto-kazuhiro.com>